

CSR（企業の社会的責任）への取り組み

- ・ 事業を通じてよりよい社会をつくること
ソーシャルニーズを創造し、優れた技術、製品、サービスを提供し続けていく。
- ・ 社会が抱える課題に当事者として自ら取り組むこと
人権・労働問題や環境問題など、さまざまな社会課題に対し、オムロンの特色を活かした取り組みを行う。
- ・ 企業活動を進めるうえで、常に公明正大であること
法令や社会ルールの厳守はもとより、説明責任を果たし、より透明で公明公正な経営を実践していく。

モデルフォレスト活動

全国各地で森林保全活動を継続実施
オムロンが取り組む森林保全活動は、社員の参画による社会貢献活動です。今日的課題である、地球温暖化防止への貢献、生物多様性の確保への貢献、そして、国連グローバルコンパクト（GC）支持の企業として、より大きな環境上の責任を負うことを狙いとして、社員一人一人が参加します。2008年度からは、国内を大きく9拠点に分割し、それぞれの事業所が活動地や協働のパートナーづくりおよび運営・企画を担っています。

モデルフォレスト活動への想い

京阪奈イノベーションセンタは井手町多賀 大正池グリーンパーク内で「井手町豊かな緑と清流を守る協議会」様、等の支援を得て、「オムロンの森」で間伐や下草刈りなど作業体験をとおして森林保全の大切さや大変さを実感し、「かけがえない地球」を守る活動を今後も継続していきます。
保安林は、中長期計画を策定し、「森林づくり基金活用事業」を用いて管理しています。



【環境学習】
ヒノキ人工林の間伐現場の視察



【森林保全活動】
公園の景観維持に加え、マツタケ山再生にもチャレンジ



【森林保全活動】
「井手町豊かな緑と清流を守る協議会」の皆様と参加者

活動データ

■企業・団体名

オムロン株式会社 京阪奈イノベーションセンタ

■所在地 〒619-0283

京都府木津川市木津川台9丁目1番
0774-74-2250

■協定

締結年月日 2009年11月1日
オムロン(株)イノベーションセンタ
オムロン労働組合京都支部
井手町豊かな緑と清流を守る協議会
井手町、京都府、京都モデルフォレスト協会

■活動フィールド

井手町多賀 大正池グリーンパーク内
41ha (内保安林 8ha)



【シイタケ栽培】

事業所内で「オムロンの森」から切り出したコナラでシイタケ



人事・総務
齊藤 悟